

市政報告書 第29号

発行所：ほしの直美後援会

八王子市松木 32-1 電話 042-689-6312 FAX 042-689-6317

E-mail : info@hoshino-naomi.com URL:<http://hoshino-naomi.com>

笑顔と幸せ★八王子！

八王子市議会議員 3期 ほしの直美



☆1968年生まれ ☆松木在住 ☆鷗友学園女子高等学校卒業

☆東京理科大学大学院修士修了（工学修士）

☆日本家族社会学会所属

研究テーマ：ワーク・ライフ・バランス

☆趣味：読書・音楽鑑賞・八王子祭り・ゴルフ・テニス(鑑賞)・犬

☆職歴：約22年の会社員生活では、日立系企業でPC・CADインスト

ラクターを経て、橋梁設計事務所にて高速道路設計業務に携わる

☆所属委員会

○文教経済委員会委員

○議会運営委員会委員

○都市計画審議会委員

○多摩ニュータウン環境組合議会委員

○都市づくり・ニュータウン対策特別委員会委員

9月補正予算は63億8,030万円。新型コロナウイルス対策と日本遺産の経費

9月補正予算の規模は63億8,030万円。中でも、新型コロナウイルス感染症対策として、国や東京都の補正予算に伴い実施する事業に加え、国から追加交付される「地方創生臨時交付金」を活用しています。主な内容として、

○「生活に困窮する市民を支援する住居確保給付金の申請件数増加に対応」

○「中小企業を対象に事業所内における感染防止対策を強化し、継続した経済活動の推進を図るため、感染症拡大防止のための環境整備にかかる費用の一部を補助」

○「売上減少に直面する中小事業者等の事業継続を支援するため、テナント家賃緊急支援金の対象者を拡大するとともに最大6か月分の支援を行う経費」

となっています。新型コロナウイルス感染症の状況により今後も困難に直面する事業者や市民の皆さんを支援すると共に、しっかりと現状を調査しながら今後の「新しい生活様式」への施策を推進して参ります。

第3回定例会 本会議 一般質問 要旨

今回の一般質問は、「1:地域における複合施設を目指す姿」「2:教育での情報技術について」「3:コロナ禍における事業再構築の考え方」の3点について質問いたしました。以下に要旨を記載します。

初 めての義務養育学校「八王子市立いずみの森義務教育学校」が開校。「保育園・児童保育・地域コミュニティスペース」が統合された教育施設です。

広い校舎では3歳から15歳までの幅広い世代の子どもたちが共に過ごし、図書室では保育園児と小中学生が共に学ぶことができる保幼小連携の新たな取組み

が実現されます。

今後も老朽化を課題とする学校や市施設を地域の期待に応える施設として、どのように更新していくかという



公共施設マネジメントへの期待は大きくなる一方で、将来必要な機能や実現できる規模などは地域特性や社会情勢によって異なります。また、エアコンは避難所として使うことを想定して武道場と新規に開設される体育館に設置されることとなりました。教育目的以外に利用される学校施設開放について、施設の運営基準を改めて考える必要があると思います。その背景には、小中学生たちは環境のことを考え、節水や節電に積極的に取り組んでいます。その上で、施設を利用する方には一定のご負担をお願いさせて頂き、施設の維持管理や周辺地域への還元など新たな仕組み作りが必要だと考えています。

コロナ禍で学習環境や経済の流れ、私たちの生活も変化する中、「新型コロナウイルス感染症対策に対応するための事業の精査状況について」新たな市政運営の基本的な考え方が示されました。

改めて 1541 事業の精査を行ったとの報告があり、緊急事態宣言が解除され新しい生活様式の中でどのように事業を進められるかがポイントとなります。今後の事業を進める計画が示されている八王子市のアクションプランは、市民サービス向上につなげるために事業化されたものです。経済が縮小されていく中において、戦略的な政策判断が重要で、市民の期待に応えられる市政運営を目指して参ります。

令和元年度 決算審査特別委員会 総括質疑 要旨

決算収支は、一般会計では、前年度に比べて歳入が 2,095 億 6,300 万円、歳出は 2,057 億 6,300 万円となり、歳入歳出差し引き形式収支は 38 億円。翌年度への繰り越し財源を控除した後の実質収支額は 16 億 1,500 万円と黒字で締めくくりました。

現 金不足による一時借入金が 18 年ぶりに発生しました。一時的に歳計現金(普通預金)が不足する見込みとなり、利子などの経済合理性を勘案し、基金口座(定期預金)からの繰替運用ではなく、金融機関からの借入れを令和 2 年 3 月に行っていました。

今回の決算では、合計収入率は過去最高だった前年度を上回り、現在の基金残高(現在 107 億円)は、以前と比べると多くなっています。これまで一時借入が発生しないように資金管理をしてきましたが、収支計画において予定していた東京都からの補助金の収入時期が遅れたことが理由でした。今後は、一時借入金の発生に伴う市の信用度への影響を鑑みると、効果・効率的な資金管

理に向けた取組が必要であるとし、今後の適切な対応を求めました。

歳入の根幹をなす市税収入は、景気動向の影響を大きく受ける上に、新型コロナウイルス感染症への対策や、豪雨災害、大規模地震などの自然災害への備え、人口減少や更なる少子高齢化への対応など市財政への影響が拡大することが見込まれるなど、その先行きは不透明です。

こうした中でも、市民が安心して暮らし、いきいきと活躍できる社会を築くための施策を着実に推進するためにも、しっかりと資金管理がなされるようチェックして参ります。



国会の動きについて

国 会では 9 月 11 日に立憲民主党・国民民主党それぞれの解党式があり、新代表に枝野幸男さんが選ばれ、9 月 15 日には新党「立憲民主党」の結党大会が開催されました。

安倍総理の突然の辞任によって、解散総選挙を見据えた、旧民主党の再集結がなされ、他野党との選挙協力が加速しております。私たち地方議員は日々、市民生活や地域の皆様に密着した政治活動を行っておりますので、国会議員の政局のそれとは、少し距離感があります。

私は今後も引き続き、八王子市議会議員として、変わらず活動を続けて参りますが、新党へ合流する

か否かの二択の問いには、今は合流しないという選択を致しました。総選挙後には、必ずまた野党再編の動きが起こります。今までもそれを何度も繰り返してきました。

私は総選挙、そしてその後の再々編の動きを注視しつつ、しばらくは無所属の立場で、この地域に必要な仕事に一意専心し、邁進する覚悟でおりますので、ご理解を賜りますようお願いを申し上げます。尚、会派は変わらず、今と同じ 市民クラブ(旧立憲 1、旧国民 1、無所属 2)にて活動して参ります。

